

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています  
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111(内線323)  
FAX63-5139

## 今月の表紙

今月の表紙は、国の重要無形民俗文化財に指定されている三河万歳新年号というところで、おめでたい三河万歳の練習風景を撮影させてもらいました。



【ポスター】  
伊吹 拓馬 くん

## みんなの作品展!



【ポスター】  
三浦 真利江 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)



## 『レジ袋削減について』

Q「レジ袋はどれくらい使用されているのですか?」  
A「国民一人あたり年間約3000枚、日本全体では、年間約305億枚じゃよ。また、レジ袋を製造するために、約55.8万キロリットルの石油が使われているのじゃよ。」  
Q「なぜレジ袋を削減する必要があるのですか?」  
A「レジ袋は、家まで商品運ぶのには便利だけど、その後すぐに捨てられてしまうものもあるのじゃ。無料でもらえるので、つい必要以上に受け取りがちじゃ。ごみ削減のために必要なレジ袋を削減する必要があるのじゃ。」  
Q「具体的に何をすればよいのですか?」  
A「買い物時にマイバッグを持参し、レジ袋を断ることじゃ。」  
Q「幸田町は、レジ袋削減のために何か取組をしていますか?」  
A「愛知県と一緒に『レジ袋削減取組店制度』に取組むのじゃよ。これは、3年以内に50%以上のレジ袋辞退率を達成した小売店を表彰する制度なのじゃ。目標達成のためマイバック持参への協力をお願いしたいのじゃ。」  
(環境課ごみ対策G 内線2773)

## 幸田の民話

### 「六條くらんど」 大草

むかし、源氏と平家が、くりから峠や一の谷で激しく戦っていたところ、ごとき天皇は天皇の位をつちみかど天皇にゆづられ、出家して上皇となられました。

このごとき上皇の身近に使えていた仕えていたくげさんの一人に、藤原のあそん六條くらんどという、とても身分の高い方がみえました。ある時、とてもささいなこと上皇のごきげんをそこね、都を後にしなければならなくなりました。そこで、この辺り相見の庄を治めていた小笠原という殿様のもとに、身をよせられました。京の都は、源氏と平家の争いによって、家は焼け落ち街は荒らされ、見るかげもなくなっていました。それにくらべて、ここ大草の里は、争いもなく平和でのんびりとした暮らしの日々が続いていました。都から来られた六條くらんどさんにとって、さぞ心休まることだったことでしょう。

けれど、大草の里は平和だったといえ、なにしろ草深いなかのことです。しばらくすると、くらんどさ

んは、ああ華やかだった都での暮らしを思い出し、ふっとため息をつかれるようになりました。そんな時、「馬を引け。気晴らしじゃ」と馬に乗って、よく散歩に出られました。

ある日のことです。いつものように馬に乗って里のはずれにさしかかれたとき、何かに驚いた馬が、ヒーンとさお立ちになってしまいました。くらんどさんは馬から振り落とされ、打ちどころも悪く、あえなく帰らぬ人となってしまいました。その後、里の人たちが、馬に乗ってここにやってくると、よく落馬するようにになりました。「これは六條くらんどさんのたたりじゃないか」「たたりをしずめるためには、くらんどさんをお祭りしなくては」

そうおもった里の人たちは、ここに小さなお社を建て、くらんどさんの魂をなくさめした。これが大草の「六條さん」です。(「こうたの民話」より)

\*内容は要約してあります)

## わんぱくだより

「某月某日」  
〜大草保育園〜

しあわせの森...  
春・夏・秋・冬の巻

大草保育園には、素敵な森があります。それは、園庭南側にある、温かな日の光が注ぐ斜面です。昨年度の年長さんがその場所を「しあわせの森」とおっしゃいました。今回は、そのしあわせの森で過ごした、春・夏・秋、冬の様子の一部を紹介いたします。今年の「しあわせの森」のテーマはインディアンです。  
春、もりの間伐材を使って、みんなでテーブルと椅子を作り、そこでおやつを食べました。いつものおや

つが、何倍にもおいしく感じられました。  
夏、森に、小さい子たちを招待して、夏のあそび会をしました。インディアンになって、森の中で遊びました。楽しかったな! 畑では、とうもろこしを育てました。とうもろこしは、森に自分たちで石を積んで作った釜戸で、ポップコーンにして食べました。その時の炎はみんな、火を起こしをしたものですよ!!  
秋、しあわせの森に大きなかぼちゃが来ました。そのかぼちゃを使ってちょうちんお化けを作り、ハロウィンパーティーをしました。綺麗だったな! それから、森で平茸を沢山収穫し、きのこご飯をつくって食べて食べました。最高の秋のご飯でした。



冬、インディアンのお家を建てて、遊んでいます。竹で滑り台も作りました。しあわせの森で採集した草花で、染物もしています。思ってた色と違う色に染まったりして、発見がいっぱいです。他にも、かたつおりの卵を発見したり、カブトの幼虫をみつけたり、小さな生き物、植物との出会いの場所もあります。毎日違う空の雲、風、おひさまの光、季節を感じながら、しあわせの森で、かけがえのない時間を過ごしています。

新年、あけましておめでとうございます。新しい年をお健やかに迎えることお喜び申し上げます。本年も「広報こうた」をよろしく願います。



▽昨年は、暖冬と言われながらも石油やガソリンの高騰により、気持的に寒い年越しとなりました。皆さんも例年にならぬほど節約をされたのではないのでしょうか。今年は経済の見通しも節約なしで明るくなるというですね。皆さんにとって今年がすばらしい1年でありませう。心からお祈り申し上げます。(丁)

▼今回の広報と一緒に、とじ表紙も配布されました。とじ表紙は今年の1月号から来年の12月号までの広報、2年分2冊を閉じるように作られています。ぜひこの1月号から毎月閉じていただきます。来年末には24冊をそろえていただきたいです。(D)



## 青春トークリレー

△△第178走者△△

なかしま はるみ  
中島 春美 さん

岩堀区在住 24歳 会社員  
身長 160cm A型  
好きなタイプ 思いやりのある人  
好きな芸能人 玉木宏

私は今、旅行が好きで、暇をみつつけてはいろいろ出かけてきました。20歳を迎えて初海外にも出かけ、ますますとりこになってしまいました。今は1年に1度、自分へのご褒美として海外旅行に出かけています。日常とかけ離れた空間で、美味しい料理を食べ、綺麗な景色を眺め...日々の疲れをリフレッシュして帰ってきます。旅行帰りの道のりでは、幸田町の自然あふれた景色が見えてきたとき、とてもうれしく、落ち着いた気分になります。綺麗なしだれ桜やコスモスが咲いたり、季節を感じられる幸田町が大好きです。いつまでも私にとって癒し系な幸田町であってほしいと願っています。

